

HITO NEWS

HITO
MEDICAL
CENTER
NEWS

2015.1
No.06

新年ご挨拶

特集「歯科」について

特集「医療の質を考える」

肝炎専門外来について

TOPICS



NEW YEAR'S
GREETINGS



社会医療法人石川記念会
HITO病院 病院長 石川 賢代

こだわるのは、医療の質。
在宅医療や地域連携が
カギになり、地域を支える。

医療の質の向上が
地域のニーズに応える

頭で新年のご挨拶を申し上げます。昨年は、地域の皆様へのご支援を賜りまして、
・脳卒中センターの開設
・HCU（ハイケアユニット）の増床
・婦人科の開設
・7対1看護体制のスタート
・地域包括ケア病棟のオープン
と医療の質を上げる取り組みをいくつか進めています。私どもが考える一医療の質の向上とは、安全面を含め、当院が持つ医療の機能やスタッフの能力を最大限に発揮し、患者さまに満足していただくことができる診療や環境を提供できる状態にすることだと考えています。そのため、今年には教育体制を強化し、一人ひとりの更なるレベルアップに努め、更なる想像することができるとなるため、揺るぎない強い組織を築いてまいります。

地域連携が
患者さまの治療を
スムーズなものにする

今年も地域の医療機関（かかりつけ医）の先生方と協力しながら、地域全体で患者さまを支えていくことに変わりはありません。
地域の先生方にご紹介いただいた患者さまがスムーズに受け入れられるよう、また、紹介された患者さまが来院されたときに、安心して治療に専念していただくことのできる環境を提供できるよう、医療機能だけでなく、接遇に関しても更に向上させてまいります。
地域の皆様には、引き続き、厳しくも温かいご指導を賜りますようお願い申し上げます。2015年が皆様にとって、また当院にとって良い一年になることを祈念して新年のご挨拶といたします。

特集

歯科

Dental Surgery

入院中や周術期の口腔ケア、
抗がん剤治療の
口腔機能管理を行う



歯科医師 敷 宗尚
(さかむねひさ)

宇摩歯科医師会 会長
順天堂大学医学部 卒業
朝日大学歯学部 卒業
専門分野： 歯科口腔外科

歯科 対象の方
● 入院患者さま
● 周術期の患者さま
● 抗がん剤治療の患者さま

HITO病院 歯科連携室

<お申し込み>

TEL 0896-29-5874

FAX 0896-29-5705

受付時間 9:00 ~ 17:00

(土日祝日を除く)

当院の歯科では

入院患者さまの口腔ケア（特に脳卒中・肺炎で入院されている方や周術期の口腔ケア、抗がん剤治療における口腔機能管理を行います。口腔管理を行うことで、合併症の予防や抗がん剤治療における口腔内有害事象に備え、早期退院に向けた支援を行います。また、摂食機能訓練を行い、咀嚼機能を維持することで健康に繋がってまいります。

口腔ケアの大切さ

口腔ケアは、次のようなことのために大切です。
・むし菌や歯周病、口臭の予防
・おいしく食事し、健康の維持
・全身感染症の予防
高齢者は、健康な人にとっぴ病原体とはいえないような細菌でも、日和見感染症（抵抗力が弱いため、普通は病原性を示さない菌による感染症）、感染性心内膜炎や誤嚥性肺炎に陥ることがありますが、口腔ケアでこれらを予防できる

歯科連携室の設置

本年1月より病院内に宇摩歯科医師会の協力を得て、歯科連携室を設置しました。何らかの理由で歯科に通えない患者さまに、訪問診療及び歯の磨き方や食生活の指導を行います。診療時間は、宇摩

医師会の先生方が行い、かかりつけの歯科医院がある場合は、優先していただくようお願いしておりますので、かかりつけの歯科がある場合は、お申し込み時その旨をおっしゃってください。
歯や入れ歯の調子が悪い、うまみを感じない、口臭がひどい、食事の時間がかえる、むせる、困るものを受け付けます。特に、むせる、食事に時間がかかるなどは、誤嚥性肺炎になる可能性があり、是非ご相談ください。

医療の質を考える。

医療の質 × 薬剤科

入院している患者さまに薬の説明に伺います
既往歴や今まで服用していた薬剤も考慮しています



薬剤科
合田 貴史

薬剤師の病棟への関与

薬剤師は、入院患者さまに対して、病室などで薬剤管理指導を実施します。
薬剤管理指導とは、患者さまに直接処方されている薬の効薬を説明したり、薬を使用している副作用がないかどうかの聞き取りや、薬の効果を評価し、その結果を医師や看護師等の多職種と情報共有し、今後の治療に役立てていきます。

また、患者さまの投薬状況を確認する際には、入院以前に服用していた薬との飲み合わせに問題がないか確認したり、検査結果で腎機能や肝機能の数値をチェックし、処方薬の経路や変更などの判断材料にします。

患者さまの状態を見て
抗がん剤のミキシング

抗がん剤は、副作用が他の薬と比べて重篤なものが多く、投与量を誤れば危険なことが多いため、治療にあたって、「レジメン」という投与する薬剤の種類

や量・期間・手順などを時系列で示した計画書をもとに投与量が決定されます。
レジメンにはいくつか種類があり、選定には、患者さまの状態や既往歴、服用中の薬との相互作用などを考えて、最適なレジメンを選定します。

抗がん剤は
無菌状態で安全に
混合調整し、
患者さまに最適な
計画書に沿って
投与します

また、薬剤のミキシング（合成）には、「安全キャビネット」を使用しており、無菌状態で薬剤の混合調整を行っています。

それは、抗がん剤を投与していること、薬の作用により免疫機能が低下し、感染症にかかることが多いため、感染防止の目的で「安全キャビネット」という無菌状態で操作が可能な装置を用いて混合調整を行っています。

栄養カンファレンスや食事療法・指導で
患者さまの治療経過を良好にします

良以外にも生活習慣病や心臓病、胃腸の病気などがある患者さまも多く、ほとんどの入院患者さまは、栄養療法が必要な状態にあります。

当院では、栄養療法に力を入れ各階の担当栄養士とNST（最良の栄養療法を提供するための多職種医療チーム）専従栄養士が栄養管理を行なっています。その業務は、

- ①栄養不良のリスクがある患者さまから一次情報を拾う
 - ②臨床検査データを取る
 - ③栄養計画を行う
 - ④疾病や栄養状態に合わせてプランを立てる
 - ⑤多職種チームで栄養カンファレンスを実施
 - ⑥食事療法・指導を実施する
- このように栄養管理を診断・治療の一部として重要視しています。こういった取り組みを行うことで病中に栄養障害のリスクに気づき対応することで栄養

状態の悪化を防ぎ、その後の治療経過を良好にすることに貢献しています。
生活習慣病の多くは、食生活が原因で、病気になる前の食事の一次予防が大切です。

職員・地域の方への
アプローチ

- ・地域住民の皆さま、職員の皆さまに健康への関心を高めるため、こうした、一次のような啓発活動を行なっています。
- ・病院内レストランでの健康食メニューの提供
- ・糖尿病教室、集団栄養教室の実施（Ｑ・マ・心臓病、脳疾患、嚥下障害、腎臓、高脂血症）
- ・健康フェスタの開催
- ・食事の善し悪しでも人が変わることもあり、少しでも多くの方が食生活を意識し、健康的な生活を送っていただくことを願っています。

医療の質 × 栄養科

栄養の重要性と
当院の栄養管理体制

近年、栄養管理の重要性が注目されています。栄養不良は病状を悪化させる原因のひとつです。感染症のリスクを高めたり、筋力減少、皮膚異常を起こしやすくなり最悪の場合、生命危険に繋がる恐れがあります。また、栄養障害が進行すると、治療効果を下げています。栄養不良



栄養科
三木 千香

栄養は、
生命に直結している



地域を守るお医者さん
登録医のご紹介

VOL
02

「山ロクリニツク」
やまぐち
ヤマコウチ
山口 康男 先生

患者さまの
メリットになるように
是非、努めていきます。

H I T O 病院との連携で望まれること…外来で診るのが困難な方については幅広く対応いただける。たとえば、脳外科領域、皮膚科領域など、もちろん内科、外科などとしても外来の場合、限界がありますので、また、早く診断をつけないといけない時に、採血は外注してして翌

愛媛県西国中央市川之江町 1640-1

電話 0896-57-1060

診療科目 / 内科、呼吸器科、消化器科、
小児科、放射線科

診療日時 / 月～土 (9 時～12 時)
月～水、金 (14 時30分～17 時30分)
木・土の午後、日・祝日は休診

専門領域…内科・放射線科
専門医・認定医…社 日本医学
放射線学会専門医(診断、腫が
NCCT 診断認定医、認定産婦
(日本医師会)
医院の売りとは？…往診・訪問
診療を月・土の13時30分～14時
30分にしていきます。また、レン
トゲンと超音波検査が可能です。

日の結果となるため、できればH
I T O 病院で検査を受けてもらっ
て診断をつけてもらいたいので、
H I T O 病院退院後の患者さまに
ついては往診もしておりますので、
フォローできればと思います。
現在、H I T O 病院のやりとりで
どんなメリットがありましたか？
…重症の患者さまはスムーズに受
け入れて、いただけること。
脳神経外科でも脳梗塞の患者さま
もスムーズに幅広くつけて
診療してもらっています。

肝炎専門外来開始、 C型肝炎の新治療。

肝炎専門外来
について

肝炎専門外来が
1月より開始しました

C型慢性肝炎の治療ガイドラインが改訂され、肝炎の新しい治療法が認められました。それは、インターフェロン(IFN)の注射などで、2つの飲み薬で治療する方法です。

C型肝炎は、初回治療と再治療のそれぞれのガイドラインがあり、ウイルスのタイプ及び種によって治療方法が異なります。また、IFNが効く・効かないでも方法は変わり、前述した2つの飲み薬での治療は、ジェノタイプ1型と呼ばれるC型肝炎ウイルスを持つ方1の患者さまが対象となります。

(表1)新治療「2剤併用療法」の対象

- 1 C型慢性肝炎の患者さまや代償性肝硬変の患者さま
- 2 IFNを含む治療法に不適格な未治療の患者さま(高齢者や貧血、好中球減少、うつ病を持つ方など) IFNを含む治療法に不耐容な患者さま(INFまたはパビリリン副作用のため、12週未満で治療を中止した方)
- 3 前治療が無効だった患者さま(IFNとリバビリンを12週間以上投与してもウイルスの量が検出感度以下にならなかった方)

IFN治療と経口剤治療の選択表(2014年9月)



保険適用の範囲

ジェノタイプ1型の患者さまに適用されますが、詳細は担当医とご相談ください。

肝炎専門外来

担当医: 病院長 石川 賢代

日 時: 毎週月曜日

10:00～11:30

※予約が必要です。

<ご予約・お問い合わせ>

サポートセンター

TEL 0896-29-5320

FAX 0896-58-5350

医療費助成制度
C型肝炎・B型肝炎に対する治療を受ける方に対して、医師の公的な助成制度があります。詳細については、医療機関または各都道府県自治体に確認ください。
一生に一度は、肝炎の抗体検査を受けましょう
C型肝炎に罹患していても自覚症状はなく、感染していることに気づかない方がほとんどです。肝炎は、早期に治療を行うほど治りやすく、検査は血液検査でわかりますので、ぜひ肝炎専門外来になる前に、ぜひ一度早めの検査をお勧めいたします。

集団栄養教室のスケジュール

- 1/17(土) 12:30～14:00
低カロリー料理のコツ
販賣員講座を改善しよう! / 低カロリー弁当

場所: H I T O 病院3階大会議室
費用: 240円

3日前までにお申し込みが必要です。

申し込み: 栄養科 TEL (0896) 29-5210

日 時	メイン料理	小 皿	デザート・スープ
1/19 (月)	高級ハンバーグ	香ばしめのひきのくまみね	三色スープ
1/20 (火)	鶏肉の 舞子マヨネーズ焼き	大豆とひきののり	きのこたっぷり スープ
1/21 (水)	鯛の アーモンドソース	鯛の PINK はたけア の味噌煮	かぼちの スープ
1/22 (木)	豆腐の ロール煎餅	かぼちの オニオンサラダ	いちご乳 プリン
1/23 (金)	いちじの 揚げ	ブロッコリーの 揚げ	豆腐とわかめ の揚げ

販売時間 11:00～14:00 / 価格 500円(税込)

1月1日(土)～1月2日(日)の2日間を
をレシートで提供いたします。

10月29日 福卒中相談会

フジクラ川之江店舗にて「福卒中相談会」を開催しました。平日の昼間にも関わらず、30名近くの方が訪問していただき、盛況に終わることができました。これから、より多くの人に参加いただけるよう、院外でもこのような企画をしていく予定です。

11月1日 健康フェスタ

世界糖尿病デー（11月14日）に基づき、糖尿病を学ぶイベントとして開催しましたので、フットケアの体験や、健康食品の試食、健康エッセイや相談会、実演会などを行いました。また、当日は1階レストランにて当院の管理栄養士が監修した「糖尿病メニュー」も提供しました。

11月9日 第5回日本医療マナー

セントジョージ学院看護学部看護学術集会、香城大学医学部附属病院にて開催され、当院からも多くの演題発表を行いました。今度のテーマは「超高齢化社会へのチャレンジ」チームで劇の医療サービス」で、高齢者や

認知症患者さまに対して、安全に寄り添うための県内の病院の取り組みを知り、勉強させていただくことができました。

今年度の医療ケアマネジメント学会の開催会場は、HITO病院となりました。多くの方に参加していただき、少しずつ準備を進めてまいります。

11月11日 N.S.T(栄養サポーター)勉強会

N.S.Tの第一人者である公立学校共済連 四国中病院 副院長の中屋豊先生をお招きし、栄養サポーターチームとは、演題で講演いただきました。栄養士の話と、終始ユーモアを交え、わかりやすく講演してくださいました。

11月20日 第2回HITO病院地域医療連携研究会

本会は、地域医に携わる医療機関や行政の皆様をお迎えして、患者を深めたり、地域全体で患者さまを支えるために意見を交わしたり、情報共有を図るために、昨年から開催している

ものです。市内外からご参加いただいた50名を超える皆様と、お互いの医療機関の機能をよく知ってもらうように連携していく

かや、地域医療の課題について再確認しました。今後、地域との円滑な連携と、患者さまの最適な医療の提供を目指し、努力していきたいと思えます。

11月26日 ロコモ教室

ロコモイブシンドローム（通称ロコモ）とは、骨、関節、筋肉などの運動器の障害で、身体移動させる能力が低下する状態を言います。教室では、ロコモを予防するための運動や、自分の身体機能を知るための評価をしました。ロコモの予防・改善についてだけでなく、今後開催していきます。

11月29日 四国中央リハケア勉強会

この勉強会は、初めての試みで、地域医師に携わっている方を対象に、四国中央市内の医師と連携したものです。今回は、様々な種類の車椅子の移乗体験をしたり、選



第5回日本医療マナーイベント学術集会



健康フェスタ



ロコモ教室



第2回HITO病院地域医療連携研究会



在宅医療連携講演会



糖尿病教室と教室で出るお弁当



福卒中相談会



N.S.T勉強会



四国中央リハケア勉強会

定方法を学び、介助方法の実技練習を行うなど、職種の垣根を超えて交流することができました。

12月6日 糖尿病教室

糖尿病専門医の谷藤 広道先生に講師を務め、糖尿病の三大合併症、神経障害、網膜症、腎症の予防法や治療法の講演による、看護師によるフットケアの講義、理学療法士による運動指導、管理栄養士による糖尿病メニューを提供しました。

12月7日 市内駅伝競走大会

今年度は、出場チーム総数86、HITO病院からは男女計6チームが出場し、全チームが完走、一般男子二部では、2年連続の優勝を飾ることができました。優勝チームの星川 龍也さんと尾上 雄規さんは、区間賞も受賞しました。

12月9日 第6回在宅医療連携研究会

鈴江病院（徳島市）の土橋文雄先生がメインとなり、認知症になっただけでなく、生活習慣病予防の徹底が、認知症予防にもつながることを講演されました。



市内駅伝競走大会 寒い中集った勇士達